

ともに歩もう、この先の秦野へ

くわはら
秦野市議会議員 桑原まさゆき



皆様、こんにちは！
いつも温かいご支援、本当にありがとうございます。
時が経つのは早いもので2023年8月27日の選挙から約1年が経過しようとしています。初めての議員活動は戸惑うことも多く学ぶことばかりです。日々の様子は常時SNSやホームページなどで報告させていただいておりますが、ようやく1年間の流れをつかみかけていることもあり紙面による活動報告を作成いたしました。どうぞ最後までお読みいただけましたら幸いです。

定例会議は年4回



議席番号は7番です。
中継では画面左側2段目にいますので探してみてください。

定例会議は年4回開催されています。

- | | |
|--------------|------|
| 第1回定例会議（3月） | 約30日 |
| 第2回定例会議（6月） | 約20日 |
| 第3回定例会議（9月） | 約30日 |
| 第4回定例会議（12月） | 約20日 |

それぞれの定例会議において本会議、予算決算常任委員会、総務常任委員会、文教福祉常任委員会、環境都市常任委員会、さらには一般質問等が行われます。

私は以下の委員会に所属しています。

- 文教福祉常任委員会
- 議会運営委員会

日々の活動もいろいろ

「議会の期間以外は何をしているの？」
そんな質問をよくいただきます。

例えば、文教福祉常任委員会に関わる政策提言に向けた所管事務調査へ行ったり、教育・子育てを中心に調査研究を行っています。

また、市内で開催されるイベントや地域の行事に参加したり、町中を歩き回りながら皆さんの声を聞いたり、専門分野である教育研究活動をもとに秦野の未来を構想したりもしています。

日々の活動で得た情報をもとに委員会質問や一般質問の準備をするのが基本となっています。よって、皆様からの声や現場の状況確認が欠かせません。

公務以外の日は青いTシャツなどを着用して市内各地を歩くことがあります。街角で見かけたら気軽にお声かけください。



2023年9月第3回定例会会議

- 1 地域とともにある学校づくりについて
- 2 いじめ・不登校対策について
- 3 学力向上の推進について



当日の動画→



初めての一般質問は、とても緊張したこともあり、冒頭に議長からご指導をいただくハプニングもありました。

まずは、学校と地域の繋がりやコミュニティスクールについて質問。教員時代に強く感じた「学校は地域の公共財である」という思いを胸に、地域との協働により子どもたちが安心して学べることの重要性をお伝えしました。

「いじめも不登校も喫緊の課題であり、このままでは減らない」との危機感を抱きながら本市のいじめ・不登校の現状と課題についてお尋ねしました。「GIGAワークブックはだの」なども活用しいじめ問題の啓発に努めているとのこと。また、「はだのE-Lab」を開設し不登校児童生徒への支援体制を拡充していくとのことでした。

本市の学力向上の推進は画一的な学びのスタイルから個別最適な学び、協働的な学びへと繋がっているのでしょうか。答弁からは各小中学校における様々な教育活動があることが分かりますが、まだまだ画一的な授業スタイルから抜け出せておらず教職員の意識改革や研修の必要性を感じました。

2023年12月第4回定例会会議

- 1 小学校における「新たな学びのスタイル」への転換について
- 2 「はだのスポーツビレッジ構想」について
- 3 市民との情報共有について



当日の動画→

学習指導要領の改訂後、全国各地の小学校で「新たな学びのスタイル」への転換に向けた改革が進んでいます。本市の現状はどうでしょうか。

「教員が一斉に教える」から「子どもたちが自ら学ぶ」という学習スタイルへの転換を図るために、授業の在り方を見直す取組を進めているとのことでした。

先生方のアイデアが生きる授業実践の積み上げに期待したいところです。

「はだのスポーツビレッジ構想」は、あまりにも唐突な提案ではないでしょうか。残念ながら市内のサッカー関係者も何も知らされていない状況でした。湘南ベルマーレ側からの提案に本市が乗る形での構想ですが、整備、運用面を含め引き続き注視してまいりたいと思います。



新聞の購読者が減少し「広報はだの」など市政情報に得ることがない人たちも多くいるようです。本市ではLINEなども活用していますが、市民との距離が遠くなるほどに自治意識も薄れていくことに繋がりがねません。今後も市民の声を届きやすく、市役所からの声も確実に届けられるよう双方向の情報共有に期待したいと思います。

2024年3月第1回定例会会議

- 1 「GIGAスクール構想」時代のICT活用について
- 2 教職員の勤務状況について
- 3 学校と地域住民との連携について



当日の動画→

本市の「学びの基盤プロジェクト」では「教えるから自ら学ぶ」子ども像を目指しているとのことですが、一人一台のタブレット端末は有効に機能しているでしょうか。

一人ひとりのペースに合わせた学習環境を整えていくことは不登校対策にも必ず繋がります。さらに来るべき機器更新時期には十分な予算も必要となることから財政措置についても指摘しました。



本市では小中学校において急速な世代交代が進んでいます（小学校・中学校の20代は共に31%）。年々複雑化を増すと言われる学校現場においては、こうした若手教職員への支援も欠かせません。勤務時間は減少傾向とのことですが、子どもたちのために懸命に働く先生たちがより充実した教育活動に取り組めるよう今後も声をあげてまいります。

学制発布以来、学校は地域と密接な関わりを持ってきた歴史があります。

各校で地域素材に着目したテーマ学習の取り組みが多々あることも分かりました。子どもたちにとって、自分たちの住む地域の課題は本物の学びへと繋がるチャンスです。今後も地元の皆さんと共に地域教材を活かした教育課程の編成に積極的に取り組んでほしいと思いました。

2024年6月第2回定例会会議

- 1 市内園小中の施設保全について
- 2 学校外の子どもの居場所について
- 3 図書館の運営について



当日の動画→

本市の小中学校では年に1回のトイレ特別清掃が実施されているとのこと。幼稚園やこども園では特別清掃がありません。近隣市においては毎月2回実施している所もあり見直しを要望いたしました。

さらに全体をみれば建物の老朽化も進んでいます。年々、積み上がる修繕や改修にしっかりと向き合って欲しいものです。「みんなで考えるみらいの学校整備指針」によって進んでいくと想定されますが、まちづくりと一体となった計画が大切だと思います。そのためにも、教育予算の増額を強く求めました。

放課後児童クラブや児童館、放課後等デイサービス、地域にある公園の状況はどのようなかをお尋ねしました。子ども・保護者・学校・事業者・地域と関わる人

たちをどのように繋ぐのか。それぞれの連携は子どもたちにとってもますます重要となることから教育部も含めた各担当課の連携強化を求めました。

図書館の充実、市民の教養を高めるためにも重要です。行ってみたいくなる図書館があったら自ずと人流も生まれることから一層の充実をお願いしました。



所管事務調査

議会運営委員会・各常任委員会では、所管事務調査として各地へ赴き複数の自治体から先進的な取組等の学びを得ています。

この1年で文教福祉常任委員会の所管事務調査が2回ありました。

視察先・調査内容のテーマは以下の通りです。視察レポートは各QRコードからご覧いただけます。

2023年11月7日から9日

大阪府守口市

「幼児教育・保育の無償化」

岐阜県大垣市

「子育て施策」

愛知県刈谷市

「小中学校体育館空調設備整備事業」



2024年5月13日から15日

兵庫県加東市

「義務教育学校」

兵庫県加古川市

「高齢者の見守りサービス」

静岡県島田市

「こども館」



会派「ともにつくる秦野」

議会には会派というものがあります。改選後、古木勝久議員（会派代表・4期・無所属）、田中めぐみ議員（1期・無所属）と新たな会派を結成しました。

9月第3回定例会月会議後には原聡議員（副議長・2期・立憲民主党）も加わり4名で日々の活動を行っています。

それぞれ全くちがう専門分野をもつ皆さんと日頃から政策等について熱い議論を交わしながら議会活動に取り組んでいます。



（田中議員・古木議員・桑原・原議員）

桑原昌之（くわはらまさゆき） プロフィール

1967年生まれ（57歳）

秦野市立大根小学校・大根中学校・神奈川県立秦野高校卒業
東京学芸大学教育学部卒業・早稲田大学スポーツ科学研究科修了

伊勢原市にて小学校教諭、指導主事など公立の現場から私立小学校の創設に関わり初代校長を務め、現在は教育研究者として全国各地の学校を支援している。また、JFA公認C級コーチ・JFA Sports Manager(GRADE3)として大根ラディッシュ、秦野市トレセンU-12などサッカーの指導やクラブマネジメント、スポーツ政策研究にも関わり現在は秦野市サッカー協会顧問。

連絡先

(TEL) 080-5375-3240

(WEB)https://on-the-ball.jp/powerspot_hadano

